

FM/AM カセットカーステレオ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XR-C330

警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- ・ 運転者は走行中に操作をしない。
- ・ 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

△警告・△注意	4
---------------	---

本機だけでできる操作

▶ 準備

まず、本機をリセットする	6
時計を合わせる	7
放送局を自動でプリセットする	8

▶ ここだけ読んでも使えます

テープを聞く	9
ラジオを聞く	12

▶ その他の操作

特定の放送局をプリセットする	14
音質や音のバランスを調節する	15
音の設定を変える	16

付録

使用上のご注意	20
各部のなまえ	22
故障かな?	23
保証書とアフターサービス	26
主な仕様	27
索引	裏表紙

別売りの機器を接続すると

▶ CD/MD

CD/MDを聞く	17
聞きたい曲・ディスクを探す	18
繰り返し聞く(リピート).....	19
曲順を変えて聞く(シャッフル).....	19

準備

使えます
ここだけ読んでも

その他の操作

CD/MD

付録



火災



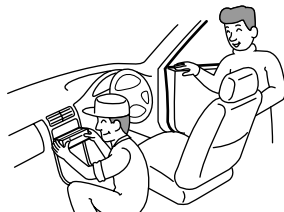
感電

下記の注意を守らないと**火災・感電により死亡や大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

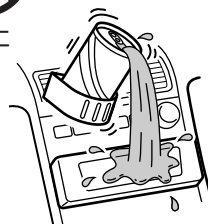


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

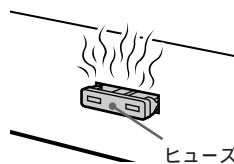


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

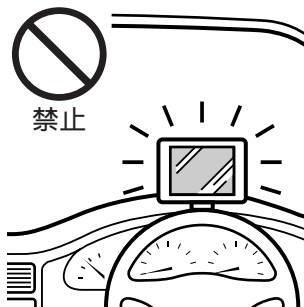


禁止



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。
また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

カセットテープやディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



はじめに

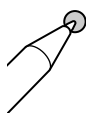
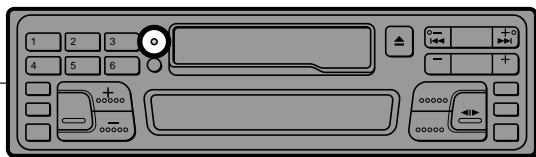
本機では、カセットテープとラジオを聞くことができます。また、別売りの機器をつないだ場合も本機のボタンで操作できます。組み合わせる機器の例として以下のものがあります。

- CDチェンジャー、MDチェンジャー
- CDプレーヤー
- ロータリーコマンダー

お手元で簡単に操作することができます。

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのCDチェンジャー、MDチェンジャー、CDプレーヤーを接続した場合の操作方法についても説明しています(17ページ～)。

まず、本機をリセットする



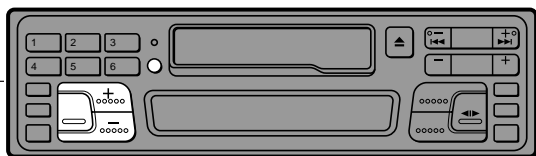
初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意

リセットボタンを押すと、時刻の他、登録した内容で消えるものがありますので、登録し直してください。

時計を合わせる

準備

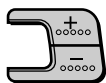
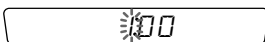


1 車のキーをONにする。

DSPL

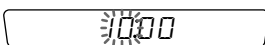


2 DSPLボタンを時計表示が点滅するまで押す。

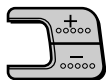


① +/- ボタンを押して、「時」を合わせる。

(時計は12時間表示)



② 「時を」合わせたら、SELボタンを押す。



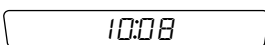
③ +/- ボタンを押して、「分」を合わせる。



DSPL



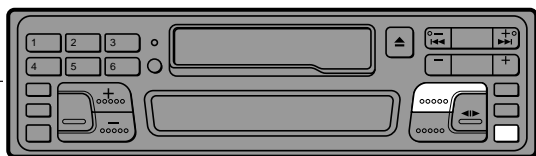
3 DSPLボタンを押す。



ご注意

POWER SELECTスイッチを①にしている場合は、本機の電源を入れてから時計を合わせてください。電源を入れるには、TUNERボタンを押してラジオをつけます。

放送局を自動でプリセットする



受信できる局を数字の1～6ボタンに自動的に登録(プリセット)します。
FMIまたはFMII、AMI、AMIIのバンドでそれぞれ6局ずつ登録できます。
テレビ放送(1～3チャンネル)は、FM90.0MHzの次にあります。



- 1 TUNERボタンを押して、プリセットしたい放送局のバンドに切り換える。



押すたびに次のように切り換わります。

FMI → FMII → AMI → AMII



- 2 BTMボタンを2秒以上押す。

「MEM」と表示が点滅し、選んだバンドの中で受信状態の良い局が周波数の順に数字ボタンにプリセットされます。

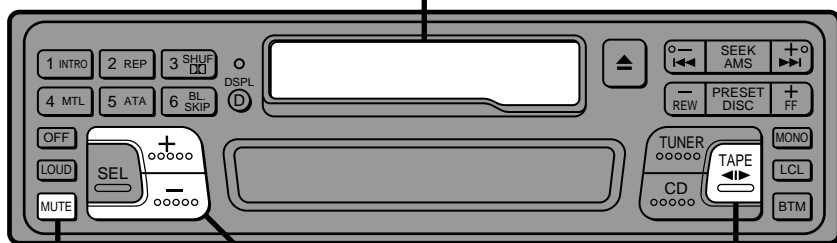
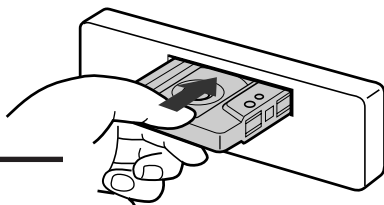
ご注意

- ・放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、プリセットされないことがあります。
- ・表示窓にプリセット番号が表示されているときは、それ以降の数字ボタンに放送局がプリセットされます。

テープを聞く

ここだけ読んでも
使えます

テープを入れると再生が始まります



音を瞬時に下げる
(ミュート MUTEボタン)

もう1度押すと元の
音量に戻ります。

音量を調節する

テープが入っているときに
押すと再生が始まる

(テープ TAPEボタン)



再生中に押すと、テープの面が切り換わります。



上面を再生



下面を再生

次のページへつづく

テープを聞く(つづき)

止める / 電源を切る

オフ
(OFFボタン)

曲の頭出しをする (SEEK/AMSボタン)
シーク/エーエムエス



前の曲へ 次の曲へ

とばしたい曲の数だけ
押します(最大9曲まで)

テープを取り出す
イジェクト
(▲ボタン)

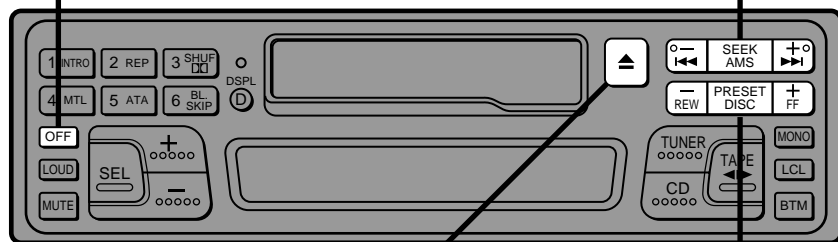
巻戻し・早送りをする

プリセット ディスク
(PRESET/DISCボタン)



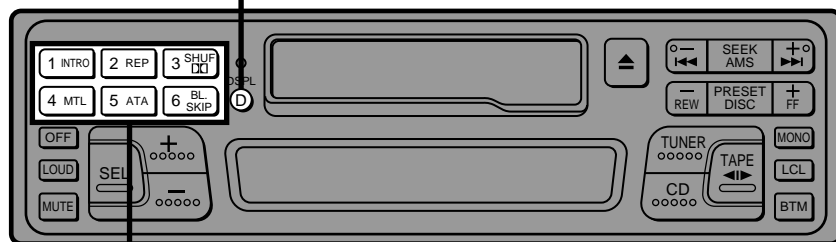
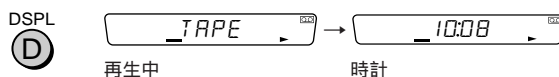
巻戻し 早送り

巻戻し・早送りの途中で再生を
始めるには、TAPEボタンを押
します。



表示の見かた^{ディスプレイ} (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



数字ボタンを押すと

- 1 INTRO 「INTRO」と表示され、各曲の頭を10秒ずつ再生する^{イントロ} (INTROボタン)
もう1度押すとそこからふつうの再生に戻ります。
- 2 REP 「REP」と表示され、今の曲を繰り返し再生する^{リピート} (REPEATボタン)
もう1度押すと、ふつうの再生に戻ります。
- 3 SHUF^{ドルビー} DD 「ドルビー^{*} B NR で録音したテープを再生する (DDボタン)
もう1度押すと、解除します。
- 4 MTL 「MTL」と表示され、クロームまたはメタルテープを再生する^{メタル} (MTLボタン)
もう1度押すと、解除します。
- 5 ATA 「ATA」と表示され、早巻き中はラジオに切り換わる^{エーディーエー} (ATAボタン)
もう1度押すと、解除します。
- 6 BL. SKIP 「BL.SKIP」と表示され、8秒以上の空白を早送りする^{ブランク・スキップ} (BL.SKIPボタン)
もう1度押すと、解除します。

* ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

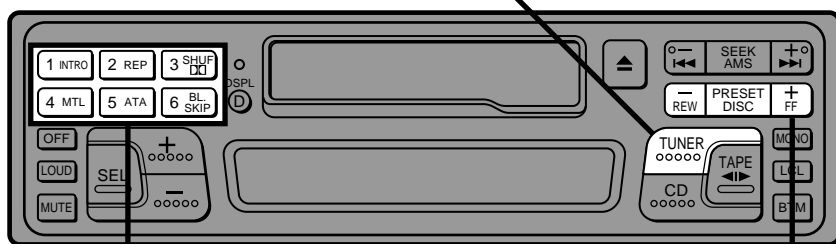
ドルビー、DOLBY及びダブルD記号DDはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。

ラジオを聞く

1 聞きたいバンドに切り換える



押すたびにFMI → FMII → AMI → AMIIと切り換わります。



2 聞きたい放送局のボタンを押す(放送局をプリセットしてあるとき)



プリセット(登録)のしかたについては、8ページ参照。

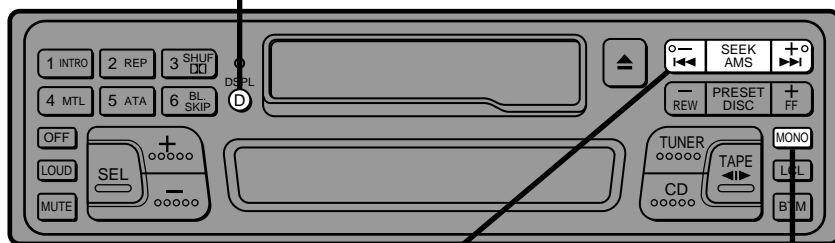
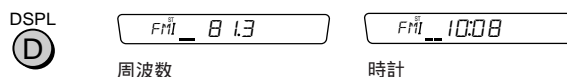
プリセットした局を順に受信する

プリセット ディスク
(PRESET/DISCボタン)



表示の見かた^{ディスプレイ} (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



旅先などで、プリセットした局が受からないとき(自動選局を使う)

SEEK/AMSボタンを軽く押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい局が受かるまで、ボタンを繰り返し押します。



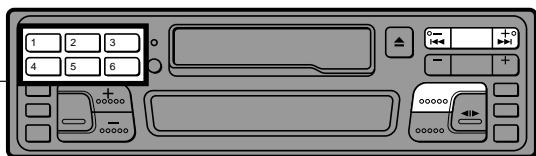
- ・聞きたい局がわかっているときは、その局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンを押しつづけます。
- ・自動選局がたびたび止まってしまうときは、LCLボタンを押して「LCL」表示に切り換えます。比較的電波の強い局だけを受信します。

ステレオ放送が聞きにくいとき

モノラル
(MONOボタン)

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、MONOボタンを押して「MONO」表示に切り換えます。音はモノラルになりますが、聞きやすくなります。

特定の放送局をプリセットする



放送局を自動プリセット(8ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。すでにプリセットしてある数字ボタンも、他の放送局に登録し直すことができます。道路交通情報(AM1,620kHz またはAM 1,629kHz)をプリセットしておく便利です。



- 1 TUNERボタンを押して、プリセットしたい放送局のバンドに切り換える。

FMI AMI



- 2 SEEK/AMSボタンを押して、プリセットする放送局を受信する。

FMI 8 1.3



- 3 プリセットしたい数字ボタンを表示が変わるまで押す。



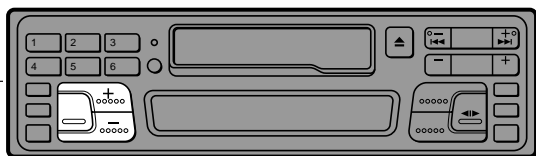
押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局がプリセットされます。

FMI 8 1.3 2

ご注意

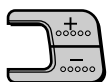
すでにプリセットしてある数字ボタンに同じバンドの他の放送局をプリセットすると、前の局は消えてしまいます。

音質や音のバランスを調節する



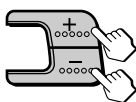
1 SELボタンを押して調節したい項目に切り換える。

BAS (低音) → TRE (高音) → BAL (左右のスピーカーバランス)
 ↑
 VOL (音量) ← FAD (前後のスピーカーバランス)



2 + / - ボタンを押して調節する。

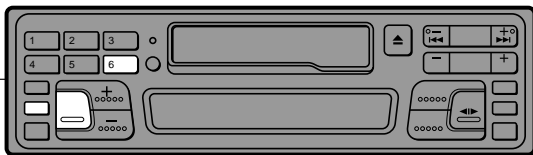
3秒以内に + / - ボタンを押してください。3秒を過ぎると音量調節 (VOL) に戻ります。



BAS	TRE	BAL	FAD	VOL
強まる	強まる	左が下がる	前が下がる	上がる
↓	↓	↓	↓	↓
弱まる	弱まる	右が下がる	後ろが下がる	下がる

その他の操作

音の設定を変える



小音量でも聞きやすくする(ラウドネス機能)

音のバランスを補正し、小音量でも低音と高音を聞きやすくします。



LOUDボタンを押して、「LOUD」を表示する。

もう1度押すと、解除します。

ボタンを押したときの「ピッ」音を入・切する



SELボタンを押しながら数字ボタン6を押す。

押すたびに切り換わります。



ご注意

「ピッ」という音は内蔵アンプを使用した接続をしないと鳴りません。

CD/MD

別売りのCDプレーヤーやCDチェンジャー、MDチェンジャーを2台までつないで、CDやMD(ミニディスク)を再生できます。

CD/MDを聞く



CDボタンを押す。

「CD」と表示され、CD/MDの再生が始まります。チェンジャーをつないでいる場合は、全てのディスクを順に再生します。

ご注意

MDの再生中にも「CD」と表示されます。

2台のチェンジャーやプレーヤーを切り換えるには

再生中にCDボタンを押して表示を切り換えます。



表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを押して表示を切り換えます。







ご注意

MDに記録された、ディスク名や曲名などは表示されません。

その他の操作

CD/MD

聞きたい曲・ディスクを探す

探しかた	押すボタン
曲の頭出しをする	再生中にSEEK/AMSボタン  押した回数だけ前または先の曲の頭出しをします。
曲の聞きたいところを探す	再生中にSEEK/AMSボタン  ボタンを押しつづけ、聞きたいところで離します。
各曲の頭を10秒ずつ再生しながら探す	再生中にINTROボタン  「INTRO」と表示されます。聞きたい曲がかかったら、もう1度押して再生に戻します。
ディスクの頭出しをする	再生中にPRESET/DISCボタン  押した回数だけ前または先のディスクの頭出しをします。

繰り返し聞く

2 REP

再生中にREPボタンを短く押して表示を切り換え、繰り返しかたを選ぶ。

REP 1

再生中の曲を繰り返す。

REP 2

再生中のディスクを繰り返す。

REP 3

チェンジャーまたはプレーヤーを2台つないでいる場合は、再生中のチェンジャーまたはプレーヤーの全ディスクを繰り返す。

曲順を変えて聞く

3 SHUF

再生中にSHUFボタンを短く押して表示を切り換え、曲順の変えかたを選ぶ。

SHUF 1

再生中のディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。

SHUF 2

再生中のチェンジャーの全ディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。

使用上のご注意

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ず、ヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

液晶表示について

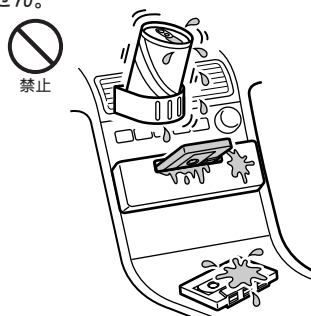
温度が極端に高いまたは低いところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、表示ももとに戻ります。

カセットデッキのヘッドのお手入れについて

カセットテープを長い間使用すると、ヘッドが汚れて、音質が悪くない、音が出ないというようなことがおこります。1か月に1度ぐらいの割合で、別売りのソニークリーニングカセットCHK-1またはC-1KNを使ってヘッドをクリーニングしてください。また、クリーニングカセットを使用しても症状が良くならない場合は、お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

良い音で聞くために

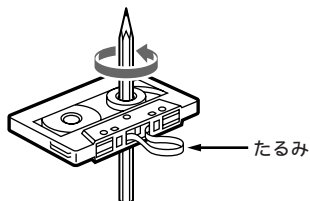
カップホルダーにジュースなどを置くときは、飛び散りにご注意ください。本機やカセットテープ面に糖分が付着すると、カセットデッキのヘッドが汚れ、音質が劣化したり、音が出なくなることがあります。ヘッドに付着した糖分は、クリーニングカセットでクリーニングすることができません。



カセットについて

- ・テープ面に指を触れないでください。テープ面が汚れたカセットを使うと、音質の劣化の原因となります。
- ・古いカセットや粗悪なカセットを使わないでください。音質の劣化や故障の原因となることがあります。
- ・次の場所には絶対に置かないでください。
 - 直射日光が当たるところなど高温の場所(特に夏季)
 - 湿度の高いところ

- ・テープにたるみがあると、テープが機械に巻き込まれることがあります。鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



- ・90分を超えるテープのご使用はおすすめできません。90分を超えるテープは、非常に薄くのびやすいので、車の振動や高温によってテープが機械に巻き込まれる場合があります。



禁止



- ・変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルのはがれかかっているときは、新しいラベルに貼り直してください。



禁止



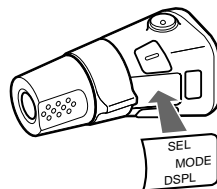
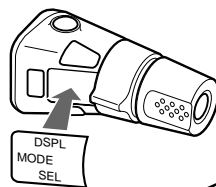
- ・本機はパワーアンプ内蔵のため、長時間使用するとカセットが熱くなりますが、カセットの機能には影響ありません。

ロータリーコマンドーのシールについて

本機には、別売りのロータリーコマンドー (RM-X2S) を接続することができます。

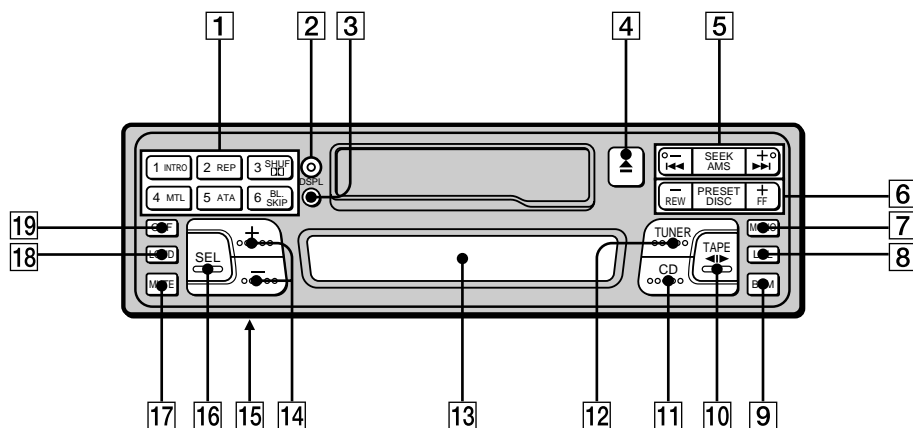
ロータリーコマンドーには、ボタン名称のシールが4枚付属されています。接続するマスターユニットの機能および、ロータリーコマンドーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。

本機には、「DSPL」のシールをお使いください。



各部のなまえ

内のページに詳しい説明があります。



1 数字ボタン1～6

テープ¹¹

ラジオ^{12 14}

CD/MD^{13 15}

2 リセットボタン⁶

3 DSPL(表示切り換え)ボタン^{7 11 13 17}

4 ▲(カセット取り出し)ボタン¹⁰

5 SEEK/AMS(ラジオ選局/曲の頭出し)ボタン

テープ¹⁰

ラジオ^{13 14}

CD/MD¹⁵

6 PRESET / DISC(早送り・巻戻し/ラジオ選局/ディスクの頭出し)ボタン

テープ¹⁰

ラジオ¹²

CD/MD¹³

7 MONO(音声切り換え)ボタン¹³

8 LCL(ラジオ選局)ボタン¹³

9 BTM(自動プリセット)ボタン⁸

10 TAPE(テープ再生/再生面切り換え)ボタン⁹

11 CD(CD/MD再生/チェンジャー選択)ボタン¹⁷

12 TUNER(バンド切り換え)ボタン^{8 12 14}

13 表示窓

14 + / - ボタン^{7 9 15}

15 パワーセレクトスイッチ

16 SEL(調節/選択)ボタン^{7 15 16}

17 MUTE(音下げ)ボタン⁹

18 LOUD(ラウドネス機能)ボタン¹⁶

19 OFF(電源切り)ボタン¹⁰

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・音量を上げてください。 ・スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
電源を切ったときに時計が表示されない	本機底面のパワーセレクトスイッチが ③ 側に設定されているときは、時計は表示されません。
共通	ラウドネス効果がかからない
	ラウドネス効果は音量が低いときのみかかります。
	メモリーの内容が消えてしまった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・リセットボタンを押した。 ・動作電源コードまたはバッテリーをはずした。 ・電源コードが正しく接続されていない。
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「ピッ」という音が出ない設定になっている(16ページ)。 ・内蔵アンプを使用しないで別売りのアンプを接続した場合「ピッ」という音は出ません。
カセットプレーヤー	カセットが入らない
	<ul style="list-style-type: none"> ・すでにカセットが入っている。▲ボタンを押して取り出してください。 ・カセットを正しい向きに入れてください。
	テープ再生中にアンテナが上がる
	・「ATA」と表示されている場合は、ATA機能が働き、テープ早送り、巻戻し中に自動的にラジオを受信するためアンテナが上がります。
	雑音が多い
	雑音が多いテープ、あるいは録音レベルの低いテープを再生している。故障ではありません。
	音がこもる
	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘッドが汚れている。別売りのソニークリーニングカセット(CHK-1またはC-1KN)を使ってクリーニングしてください。 ・ドルビーNR録音されていないテープをドルビーB NRで再生している。数字ボタン3を押してドルビーNRを切ってください。 ・ノーマルテープをメタルポジションで再生している。数字ボタン4を押して「MTL」を切ってください。

故障かな?(つづき)

	症状	原因・処置
カ セ ッ ト プ レ ー ヤ ー	頭出しができない	<ul style="list-style-type: none"> ・曲間のあきが短すぎる。録音テープを作るとき、曲間を4秒以上あけてください。 ・曲間に雑音が多く、曲間を検出できない。
	曲の途中で再生が始まる	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の途中に無音部分や低音のみの部分が1秒以上あり、曲間として検出された。 ・再生している面と反対の面に大きな音が録音されている。 ・無音部分の一部に雑音が多い。
	曲が収録されていない部分で再生が始まる	<ul style="list-style-type: none"> ・ドルビーNR録音されたテープをドルビーNR OFFで再生している。数字ボタン3を押してドルビーNR Bに切り換えてください。 ・メタルテープをノーマルポジションで再生している。数字ボタン4を押して「MTL」に切り換えてください。
	テープが排出されて、再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ・テープに巻きむらがあると、テープは排出されます。早送り・巻戻しをして、テープを巻き直してください。
ラ ジ オ	受信できない、雑音しか出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・カーアンテナとの接続を確認してください。 ・オートアンテナが上がっていない。パワーアンテナコントロールリードをアンテナリモート(青)コードに接続してください。 ・周波数を確認してください。
	SEEKボタンを押しても聞きたい局で止まらない	<ul style="list-style-type: none"> ・「LCL」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。LCLボタンを押して表示を消してください。 ・電波が弱くて自動選局できない。SEEK/AMSボタンを押して周波数を合わせてください。
C D M D	音がとぶ、音が途切れる、音が割れる	<ul style="list-style-type: none"> ・CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。 ・ディスクが傷ついている。

CD/MDのエラー表示

CDチェンジャーやMDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
E-01	ディスクマガジンがチェンジャーに入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、チェンジャーに入れる。
E-02	チェンジャーのディスクマガジンにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
E-04	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
E-99	何らかの原因でチェンジャーが動作しない。	本機のリセットボタンを押す。
TEMP	周囲の温度が50.0℃以上あって再生できない。	車内の温度が下がるのを待つ。

保証書とアフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

カセットプレーヤー部

トラック方式	4トラック2チャンネル (ステレオ)
ワウフラッター	0.08%(WRMS)以下
周波数特性	30 48,000Hz
再生SN比(JIS A)	

カセット	ドルビー B NR	ドルビー NR OFF
TYPE I	64dB	58dB
TYPE II、III、IV	67dB	61dB

チューナー部

FM

受信周波数	76 ~ 90MHz(テレビ1 ~ 3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30 45,000Hz
SN比 50dB感度(IHF)	15dBf
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	65dB(ステレオ) 68dB(モノラル)

ひずみ率(1kHz)	0.5%(ステレオ) 0.3%(モノラル)
ステレオセパレーション	35dB以上(1kHz)
キャプチャレシオ	2dB

AM

受信周波数	522 ~ 1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30 μ V

アンプ部

音声出力端子	フロント、リア
適合インピーダンス	4 ~ 8
最大出力	27W x 4(4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
トーンコントロール	低音: ± 10 dB(100Hz) 高音: ± 8 dB(10kHz)
出力端子	リア用ライン出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子
本体寸法	約178 x 50 x 176mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178 x 50 x 156mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)
別売品	ロータリーコマンダーRM-X2S CDチェンジャーCDX-51 CDプレーヤーCSX-300 MDチェンジャーMDX-60 バスケーブル(RCAピンコード 付き) RC-61(1m) RC-62(2m) RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m) RC-65(5m) ソースセクターXA-C30 クリーニングカセット CHK-1、C-1KN

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

あ行

音質

高音 15

低音 15

LOUDNESS 16

音量

音を瞬時に下げる 9

か行

交通情報 14

さ行

CD/MD 17

シャッフル 19

SPEAKER BALANCE 15

た行

テープ 9

音質劣化 20

DOLBY 11

電源 7、10

時計 7

な、は、ま、や行

BALANCE 15

表示窓

テープ 11

ラジオ 13

CD/MD 17

FADER 15

BRANKS SKIP 11

プリセット

自動プリセット 8

ラジオ局 14

BEST TUNING MEMORY

8

ボタンの音 16

ら、わ行

LOUDNESS 16

ラジオ 12

自動選局 13

プリセット

8、12、13、14

リセット 6

リピート 19

ロータリコマンダー 21

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

Sony Corporation Printed in Japan